

高岡ロータリークラブ

会長／牧野 明 幹事／坪田 伊歩

UNITE
FOR
GOOD

2025/11/20

No.19

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 安田 会場監督 点 鐘 牧野 会長
国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

会長挨拶／報告

■米山奨学会より感謝状

第 13 回米山功労者 若野恒彦さん

幹事報告

■定例理事会⇒本日 13：30～ 桐の間

■指名委員会⇒本日 14：30～ 桐の間

■4 番テーブルミーティング⇒本日 18：00～ 都万麻

■2 番テーブルミーティング

⇒11/25 18：30～ 八百石

< ニコニコBOX 13 件 41,000 円 >

牧野会長／本日の卓話、二上さんよろしくお願いします。
皆さんインフルには気をつけましょう。

中野副会長／二上さん、本日の卓話よろしくお願いします。
いたします。本日、4 番テーブルミーティングに参加
させていただきます。よろしく！楽しみです！

坪田幹事／二上さん、本日卓話よろしくお願いします。
山本（毅）筆頭理事／金沢の東山茶屋街で杵屋君三郎家
元に長唄を習い始めて 10 年以上になり、この度よう
やく名取になりました。芸名は杵屋君竹です。長唄の
楽しみは仕事を忘れてリフレッシュできることと、
発表会が東山の芸妓さん達と一緒にとても楽しい
ことです。興味がある方は一緒に習いませんか？

菅野君／二上さん、卓話楽しみにしております。よろ
しく願いいたします。

藤田君／弥栄節保存会創立 50 周年を 11 月 15 日に盛
大に開催することができました。これもクラブの方
々や多くの方のご支援のおかげであり感謝申し上げ
ます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

多田君／当社は 8 月で創業 120 年です。記念上事業
として新オフィスを完成しました。これもひとえに
皆様のおかげだと思います。当社の社是は誠であり、
これから誠心誠意をつくして地域社会に貢献してい
きたいと思います。感謝

竹中君／先週金曜日、高岡間税会の企業視察には高岡
RC から 9 名の参加をいただきありがとうございます

ました。新幹線とバスを利用して、武生ナイフビレ
ッジでの制作体験、鯖江の料亭中松での黒龍、梵飲み
放題、加藤吉平商店での梵のモーツァルトを聞かせ
る日本酒 醸造の見学など楽しいひと時でした。来年
は酒造りの神様、野口尚彦研究所の見学を考えてい
ます。高岡間税会へのご入会、ご参加お待ちしております。

二口君／先週の職場例会には大勢の方にご足労頂き誠
に有難うございました。前半の会社紹介では限られ
た時間の中で至らぬ点が多々あり、また工場見学も
半分のエリアしかご紹介することができないなど、
消化不良に終わられた方も多数いらっしゃると思
いますが、平にご容赦いただきたいと思います。壁紙
用の糊だけではない弊社の今日の姿を多少なりとも
ご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

四津谷君／昔こんなことを言った人がいます。

「なーに、そう言う憂国の士と言うのがいて、国を滅
ぼしてしまうのだよ」幕末、明治初期の日本には愛
国者気取りで、事あるごとに「愛国」「憂国」を怒鳴り
まくる 連中が沢山いました。そう言うものについて
独特の皮肉っぽい口調でこう言ったそうです。いつ
たい誰の言葉でしょうか？共産主義者？非国民？売
国奴？外国人？ 答えは幕末の幕臣、勝海舟です。山
本五十六元師も同様な事を言っています。第三
次世界対戦に繋がらないためにも「4 つのテスト」
大事です。

平井君／11 月 13 日の親睦麻雀大会では皆様に大変お
世話になりました。まさかの優勝となり、びっくりし
ておりますが皆様の麻雀愛に感動です！またお願い
します。

柳澤君／本日、途中退室します。

中川君／皆様寒くなりまして、風邪、インフルには気
をつけましょう。本日も多くのニコボックスありが
とうございました。



プログラム

(会員卓話)

『地上を離れて見た世界』

二上利博会員

趣味でもあり、前職でもあった、ハンググライダーというスカイスポーツについて

お話しします。

まずは、自己紹介をします。1959年に高岡市白金町で生まれました。小学校は博労小学校、南星中学校、高岡南高校、立教大学を卒業しました、実は大学4年生のときに、ファルホーク株式会社に入社しました。ハンググライダーの啓もう活動をしている企業です。その企業に勤めながら、大学6年で卒業しました。1986年にいまのFUTAGAMIに入社しました

なぜ、ハンググライダーをやり始めたか？POPEYEという雑誌の創刊号が1976年ですが、ハンググライダーや、スケートボードなどアメリカで流行ったスポーツや文化が掲載されていました。どこの大学に行けばそれができるのか、それで立教大学に入ったのです。ハンググライダーとはなにか？重さでいうと40キロなど重たいほうが、性能がよい機械。1人で持ち上げて斜面を駆け下りて離陸するやり方で飛び立ちます。操縦はパイロットの操縦のみです。上昇気流をみつけて高度をかせぎ、それを距離にかえて飛んでいく、最後は安全な場所に着陸します。機体自体はアルミカーボン、翼はアルミです。

ハンググライダーはモーターもないのに何で飛ぶのか？「ベルヌーイの法則」翼に空気があって、空気が翼のところで分かれるが、最終的に同じタイミングで合流する。上が気圧が高くて、下の気圧が低くて、つながっていきます。

飛ぶときの装備は、ハーネス（寝袋のようなものに）空気抵抗を極力少なくし、コントローラーにぶら下がって、手で体重移動し、操作します。パラシュートがハーネスに仕込まれています。パラシュートが開く場合は、機体の骨が折れたりするときなので、なるべく安全に降下していく。私自身は実際は開いたことはないです。このほか計器類—GPS位置情報を把握する。競技やフリーディスタンスの場合に使用。昔は地図を折りたたんで見るところにはりつけていた。無線機—仲間や地上のクルーと話をする。昇降計—上昇して高度を稼いで、距離を稼いで遠くにとんでいく。コントロールしながらフライトします。

空を飛ぶ魅力は、言葉にするのが難しいので、AIに聞いてみました。環境へのやさしさ、排気ガスもない、自然を壊さない、言葉にしてシンプルなのは、飛ぶことによって日常から離れて無になれるのが魅力、半面、自然の力には抗えないのがいい。人間の非力さを体験できます。

挑戦と技術、それはなんのためか？ベースにあるのは、技術を習得するのは安全性を高めるためです。

上昇気流の種類について。熱上昇気流、雲の列がクラウドストリートというそこに上昇し、次の雲に乗ると次に行けたりする。日本の上昇気流の限界は高度2000mくらいです。全米オープンなどに使用されるペブルビーチなどの中継をみているとハンググライダーやパラグライダーが映っています。

高い山に風がぶつかって、南米のアンデス山脈でウェーブを発生し、高度記録が生まれている。ハンググライダーだと4900mくらい、それらは、公式記録として残っている。実はもっと高くあがっているかもしれない。

ハンググライダーを楽しむにはどうすればいいのか？いまは、パラグライダーに切り替わり、ハンググライダーを教えているのは日本全国で数社しかない。茨城の先生が、2025年の世界選手権でもワールドチャンピオンになっている。競技を兼ねてやっている人も多い。スクールに入る前に体験フライトをやってからの方がいいですね。

地元ですと、富山県南砺市のつくばね山テイクオフエリア、アメリカはシェラネバダ山脈、だいたいちょっとしたスキルがある人は100マイル飛ばすよという触れ込みのところですよ。ドイツのノイシュバンシュタイン城近くにも飛びエリアがあり、そこで参加しています。富士五湖近くや、富士山の測候所の近くから飛び出したこともある。ある番組のデモフライトということで飛びました。

なぜパラグライダーにひかれるかといいますと、自然の力は偉大で、人間の力は非力だなと感じるから、無になれる時間が持てるところです。もし、体験してみたい方がいらっしゃいましたら、私にご連絡ください。おすすめるは、二人乗りで先生と一緒に体験するのがいいと思います。

ご清聴ありがとうございました。